

大項目	中項目	小項目	よみがな	
1 演目の種類	歌舞伎劇の様式		えんもくのしゅるい	
			かぶきげきのようしき	
		王代物	おうだいもの	
		時代物	じだいもの	
		世話物	せわもの	
		生世話	きぜわ	
		新歌舞伎	しんかぶき	
		スーパー歌舞伎	すーぱーかぶき	
		義太夫狂言	ぎだゆうきょうげん	
		丸本物	まるほんもの	
		歌舞伎十八番[様式]	かぶきじゅうはちばん	
		舞踊		ぶよう
			長唄舞踊	ながうたぶよう
			浄瑠璃所作事	じょうるりしよさごと
			松羽目物	まつばめもの
			狂言舞踊	きょうげんぶよう
		年中行事と歌舞伎		ねんちゅうぎょうじとかぶき
			顔見世	かぶききょうげん
	初春狂言		はつはるきょうげん	
	弥生狂言		やよいきょうげん	
	夏芝居		なつしばい	
	内容による分類		ないようによるぶんるい	
		お家騒動物	おいえそうどうもの	
		敵討(仇討)物	かたきうち(あだうち)もの	
		傾城買	けいせいかい	
		心中物	しんぢゅうもの	
		身替わり物	みがわりもの	
		縁切と殺し	えんきりところし	
		白浪物	しらなみもの	
		怪談	かいだん	
		霊験譚	れいげんたん	
		異類婚姻譚	いるいこんいんたん	
		貴種流離譚	きしゅりゅうりたん	
		2 家の芸		いえのげい
	歌舞伎十八番[家の芸]		かぶきじゅうはちばん	
	新歌舞伎十八番		しんかぶきじゅうはちばん	
	新古演劇十種		しんこえんげきじゅっしゅ	
	秀山十種		しゅうざんじゅっしゅ	
	片岡十二集		かたおかじゅうにしゅう	
	玩辞楼十二曲		がんじろうじゅうにきょく	
	高賀十種		こうがじゅっしゅ	
淀君集	よどぎみしゅう			
可江集	かこうしゅう			
杏花戯曲十種	きょうかぎきょくじゅっしゅ			
猿翁十種	えんおうじゅっしゅ			
澤渦十種	おもだかじゅっしゅ			
3 歌舞伎の役柄			かぶきのやくがら	
	立役		たちやく	
		実事	じつごと	
		和事	わごと	
		荒事	あらごと	
		実悪	じつあく	
		敵役	かたきやく	
		二枚目	にまいめ	
		三枚目	さんまいめ	
		チャリ・道化	ちゃり・どうけ	
		つっころばし	つっころばし	
		ピントコナ	ぴんとこな	

大項目	中項目	小項目	よみがな
		辛抱立役	しんぼうたちやく
		捌き役	さばきやく
		国崩し	くにくずし
		色悪	いろあく
		手代敵	てだいがたき
		半道敵	はんどうがたき
		四天[役柄]	よてん
		老け	ふけ
		赤っ面[役柄]	あかつら
		若衆	わかしゅ
		男伊達	おとこだて
		勢い	きおい
	女方(女形)		おんながた
		傾城	けいせい
		立女形	たておやま
		若女形	わかおやま
		赤姫	あかひめ
		片はずし[役柄]	かたはずし
		女房	にようぼう
		芸者[役柄]	げいしや
		娘方	むすめがた
		悪婆	あくば
		花車方	かしゃがた
		三姫	さんひめ
		三婆	さんばばあ
	子役		こやく
	人間以外の役		にんげんいがいのやく
		獅子	しし
		幽霊・亡霊	ゆうれい・ぼうれい
		鬼・精	おに・せい
		動物・動物の化身	どうぶつ・どうぶつのけしん
4歌舞伎のかつら			かぶきのかつら
	髪型の基礎知識		かみがたのきそちしき
	立役のかつら		たちやくのかつら
		生締	なまじめ
		燕手	えんで
		百日	ひやくにち
		車鬘	くるまびん
		王子	おうじ
		眼鏡	めがね
		ふかしびん	ふかしびん
		力紙	ちからがみ
		八方割れ	はっぽうわれ
	女方のかつら		おんながたのかつら
		島田系のかつら	しまだけいのかつら
		伊達兵庫(立兵庫)	だてひょうご(たてひょうご)
		丸髷	まるまげ
		下げ髪	さげがみ
		権茸たぼ	しいたけだぼ
		片はずし[かつら]	かたはずし
		結綿	ゆいわた
		吹輪	ふきわ
		馬の尻尾	うまのしっぽ
		紫の帽子	むらさきのぼうし
	変化するかつら		へんかするかつら
	その他のかつら		そのほかのかつら
		獅子の頭	ししのかしら
		病鉢巻	やまいはちまき

大項目	中項目	小項目	よみがな	
5歌舞伎の衣裳	立役の衣裳		かぶきのいしよう	
			たちやくのいしよう	
		袴	かみしも	
		熨斗目	のしめ	
		大紋と素襖	だいもんすとおう	
		龍神巻(竜神巻)	りゅうじんまき	
		野羽織・野袴	のばおり・のばかま	
		小忌衣	おみごろも	
		四天[衣裳]	よてん	
		首抜き	くびぬき	
		仁王襷	におうだすき	
		女方の衣裳		おんながたのいしよう
			振袖	ふりそで
			打掛(裃)	うちかけ
		俎帯	まないたおび	
		胴抜	どうぬき	
		小袖	こそで	
	変化する衣裳		へんかするいしよう	
		引き抜き[衣裳]	ひきぬき	
		ぶつ返り[衣裳]	ぶつかえり	
		毛縫	けぬい	
	衣裳の柄		いしようのがら	
		雪持	ゆきもち	
		石持	こくもち	
		十六むさし	じゅうろくむさし	
		肩入	かたいれ	
		紙衣[衣裳]	かみこ	
		弁慶格子・翁格子	べんけいごうし・おきなごうし	
		童子格子	どうじごうし	
	6化粧と隈取り	化粧の方法		けしよとくまどり
			けしよのほうほう	
			白粉・砥の粉・紅	おしろい・とのこ・べに
			女方の化粧の手順	おんながたのけしよのてじゅん
立役の化粧			隈取りの手順 筋隈	くまどりのてじゅん すじぐま
				たちやくのけしよ
			荒事・和事・実事	あらごと・わごと・じつごと
			実悪・色悪・敵役	じつあく・いろあく・かたきやく
		赤っ面[化粧]	あかつつら	
		町人・若衆	ちょうにん・わかしゅ	
女方の化粧			おんながたのけしよ	
		姫・町娘・田舎娘	ひめ・まちむすめ・いなかむすめ	
		遊女・芸者	ゆうじょ・げいしや	
		御殿女中・年増	ごてんじょちゆう・としま	
隈取り			くまどり	
		紅隈	べにぐま	
		藍隈	あいぐま	
		茶隈	ちゃぐま	
		猿隈	さるぐま	
		付け眉と付け髭など	つけまゆとつけひげなど	
	付け眉と付け髭	つけまゆとつけひげ		
7歌舞伎の演技・演出	演技の基本型		かぶきのえんぎ・えんしゅつ	
			えんぎのきほんけい	
			和事とやつし	やつし
			荒事と神霊事	あらごととしんれいごと
			見得	みえ
			狂乱	きょうらん
		怨霊事	おんりょうごと	
せりふと演技		せりふとえんぎ		

大項目	中項目	小項目	よみがな
		しゃべり	しゃべり
		口説き	くどき
		語り	かたり
		述懐	じゅっかい
		口舌	くぜつ
		愛想尽かし	あいそづかし
		悪態	あくたい
		名乗り	なのり
		見顕し	みあらわし
		モドリ	もどり
		手負い	ておい
		七五調	しちごちよう
		つらね	つらね
		厄払い	やくばらい
		渡りぜりふ	わたりぜりふ
		割りぜりふ	わりぜりふ
		糸にノル	いとにのる
		おうむ	おうむ
		チャリ	ちやり
		捨てぜりふ	すてぜりふ
	場(シチュエーション)		ば(しちゆえーしょん)
		濡れ場と色模様	ぬればといろもよう
		髪梳き	かみすき
		世話場と愁嘆場	せわばとしゆうたんば
		責めと折檻	せめとせっかん
		殺し場	ころしば
		返り討ち	かえりうち
		草履打	ぞうりうち
		羽織落	はおりおとし
	歩く芸		あるくげい
		六方(六法)	ろっぽう
		丹前	たんぜん
		出端と引っ込み	ではとひっこみ
		八文字	はちもんじ
		幕外	まくそと
		道行	みちゆき
	特殊な演出		とくしゆなえんしゆつ
		引き抜き[演技・演出]	ひきぬき
		ぶっ返り[演技・演出]	ぶっかえり
		ケレン	けれん
		連理引き	れんりびき
		宙乗り	ちゆうのり
		人形振り	にんぎょうぶり
		だんまり	だんまり
		立廻り	たちまわり
		トンボ	とんぼ
		本水	ほんみず
		口上	こうじょう
	後見と黒衣		こうけんとかろご
		後見	こうけん
		黒衣	くろご
8 歌舞伎の音楽			かぶきのおんがく
	歌舞伎囃子一長		かぶきはやしーながうたとなりもの
		長唄	ながうた
		鳴物	なりもの
	浄瑠璃		じょうるり
		金平浄瑠璃	きんぴらじょうるり
		大薩摩節	おおざつまぶし

大項目	中項目	小項目	よみがな
		義太夫節	ぎだゆうぶし
		河東節	かとうぶし
		常磐津節	ときわづぶし
		清元節	きよもとぶし
		新内節	しんないぶし
	箏（そう）、尺八、胡弓など		そう、しゃくはち、こきゅうなど
		箏	そう
		三弦	さんげん
		胡弓	こきゅう
		尺八	しゃくはち
	さまざまな演奏形式		さまざまなえんそうけいしき
		出囃子（雛壇）	でばやし（ひなだん）
		山台	やまだい
		床	ゆか
		出語り	でがたり
		掛合	かけあい
		送り三重	おくりさんじゅう
		ト書き浄瑠璃	とがきじょうり
		唄浄瑠璃	うたじょうり
		余所事浄瑠璃	よそごとじょうり
	黒御簾（下座）		くろみず（げざ）おんがく
		黒御簾音楽の演奏形式	くろみずおんがくのえんそうけいしき
		附師と舞台師	つけしとぶたいし
		黒御簾音楽の用法と演出 （一）幕開き	くろみずおんがくのようなほうとえんしゅつ （いち）まくあき
		黒御簾音楽の用法と演出 （二）人物の登退場	くろみずおんがくのようなほうとえんしゅつ （に）じんぶつのとうたいじょう
		黒御簾音楽の用法 （三）俳優の演技につく用法	くろみずおんがくのようなほうとえんしゅつ （さん）はいゆうのうごきにつくようほう
		合方・相方	あいかた
		めりやす	めりやす
		独吟	どくぎん
	歌舞伎の楽器		かぶきのがっき
		三味線	しゃみせん
		大太鼓	おおだいこ
		小鼓、大鼓、締太鼓	こつづみ、おおかわ、しめだいこ
		笛	ふえ
		黒御簾の楽器	くろみずのがっき
9舞台機構と舞台技術			ぶたいきこうとぶたいぎじゅつ
	舞台機構		ぶたいきこう
		廻り舞台	まわりぶたい
		花道	はなみち
		セリ	せり
		すっぽん	すっぽん
		大臣柱	だいじんばしら
		箕の子（葡萄棚）	すのこ（ぶどうだな）
		所作舞台	しよさぶたい
		奈落	ならく
		揚幕	あげまく
		鳥屋	とや
	大道具		おおどうぐ
		屋体	やたい
		瓦燈口	かとうぐち
		松羽目	まつばめ
		びやくろく	びやくろく
		遠見	とおみ
		千畳敷	せんじょうじき
		龕灯返し	がんだうがえし
		屋体崩し	やたいくずし

大項目	中項目	小項目	よみがな
		吊り枝	つりえだ
	幕のいろいろ		まくのいろいろ
		定式幕	じょうしきまく
		緞帳	どんちょう
		浅葱幕	あさぎまく
		道具幕	どうぐまく
		消し幕	けしまく
		振り落とし	ふりおとし
		浪幕	なみまく
		後ろ幕	うしろまく
		霞幕	かすみまく
	照明と音響		しょうめいとおんきょう
		面明かり(差し出し)	つらあかり(さしだし)
		瑠璃燈	るりとう
		ツケ	つけ
		柝	き
		効果	こうか
	雪と散り花		ゆきとちりばな
		雪	ゆき
		散り花	ちりばな
10歌舞伎の小道具			かぶきのこどうぐ
	主な小道具の分類		おもなこどうぐのぶんるい
		出道具	でどうぐ
		持ち道具	もちどうぐ
		本物	ほんもの
		拵え物	こしらえもの
		消え物	きえもの
		壊れ物	こわれもの
		仕掛け物	しかけもの
	さまざまな小道具		さまざまなこどうぐ
		乗物	しかけもの
		動物	どうぶつ
		刀剣	かたな
		扇	おうぎ
		煙草と煙管	きせる
		傘と笠	かさとかさ
		行灯と提灯	あんどんとちようちん
		本火	ほんび
		立廻りの道具	たちまわりのどうぐ
		手紙・書面	てがみ・しょめん
		切首	きりくび
		差し金	さしがね
		合引	あいびき
11習俗と遊里			しゅうぞくとゆうり
	習俗		しゅうぞく
		敵討・仇討	かたきうち・あだうち
		義兄弟	ぎきょうだい
		名付け親	なづけおや
		乳兄弟	ちきょうだい
		乳母	うば
		乳人子	めのとご
		親子は一世	おやこはいっせ
		生さぬ仲	なさぬなか
		大家と店子	おおやとたなこ
		臍の緒書	ほぞのおがき
		守り袋	まもりぶくろ
		心中	しんじゅう
		相対死	あいたいじに

大項目	中項目	小項目	よみがな
		首実検	くびじっけん
		達引	たてひき
		紙子（紙衣）	かみこ
		町木戸	まちきど
		宵宮	よみや（よいみや）
		火消し	ひけし
		刺青、彫物、入墨	しせい、ほりもの、いれずみ
		山伏	やまぶし
		先達	せんだち
		強力	ごうりき
		町奴	まちやっこ
		旗本奴	はたもとやっこ
		侠客	きょうかく
		渡世人	とせいにん
		口入屋	くちいれや
	遊里と廓		ゆうりとくるわ
		吉原	よしわら
		島原	しまばら
		新町	しんまち
		岡場所	おかばしよ
		深川	ふかがわ
		柳橋	やなぎばし
	遊里の人々		ゆうりのひとびと
		花魁	おいらん
		太夫職	たゆうしよく
		新造	しんぞ
		芸者	げいしゃ
		禿	かむろ
		幫間	ほうかん
		遣手	やりて
		茶屋	ちゃや
		身売り	みうり
		女衞	ぜげん
		身請け	みうけ
		請け人	うけにん
	交通・時・貨幣		こうつう・とき・かへい
		宿場	しゆくば
		五街道	ごかいどう
		時刻	じこく
		貨幣	かへい
12宝物			たからもの
	刀剣		とうけん
		刀の種類	かたなのしゆるい
		天叢雲剣（草薙の剣）	あめのむらくものつるぎ （くさなぎのつるぎ）
		小狐丸	こぎつねまる
		友切丸	ともきりまる
		膝丸（蜘蛛切）	ひざまる（くもきり）
		小烏丸	こがらすまる
		俱利伽羅丸	くりからまる
		日吉丸	ひよしまる
		牛王吉光	ごおうよしみつ
		その他の刀剣	そのほかのとうけん
		折紙	おりかみ
	妖刀		ようとう
		籠釣瓶	かごつるべ
		青江下坂	あおえしもさか
		庚申丸	こうしんまる

大項目	中項目	小項目	よみがな
	種々の宝物		しゅじゅのたからもの
		旭の弥陀の尊像	あさひのみだのそんぞう
		飛鳥川の茶入	あすかがわのちやいれ
		香箱	こうばこ
		胡蝶の香合	こちょうのこうごう
		ことわりやの短冊	ことわりやのたんざく
		白旗・赤旗	しらはた・あかはた
		諏訪法性の兜	すわほっしょうのかぶと
		千鳥の香炉	ちどりのこうろ
		探題の印・勘合の印	たんだいのいん・かんごうのいん
		虎の巻	とらのまき
		初音の鼓	はつねのつづみ
		宝鏡	ほうきょう
		都鳥の一巻	みやこどりのいちかん
		名玉	めいぎよく
		蘭奢待	らんじゃたい
		鯉魚の一軸	りぎよのいちじく
	だんまりの宝物		だんまりのたからもの
		時代だんまりの宝物	じだいだんまりのたからもの
		世話だんまりの宝物	せわだんまりのたからもの
13世界とは			せかいとは
		世界定めと趣向	せかいさだめとしゅこう
		大織冠の世界	たいしよくかん
		六歌仙の世界	ろっかせんのせかい
		伊勢物語の世界	いせものがたりのせかい
		御位争いの世界	みくらいあらしいのせかい
		前太平記の世界	ぜんたいへいきのせかい
		将門記の世界	しょうもんきのせかい
		隅田川の世界	すみだがわのせかい
		奥州攻めの世界	おうしゅうせめのせかい
		平家物語の世界	へいけものがたりのせかい
		伊豆日記の世界	いずにつきのせかい
		木曾義仲の世界	きそよしなかのせかい
		義経記の世界	ぎけいきのせかい
		曾我物語の世界	そがものがたりのせかい
		太平記の世界	たいへいきのせかい
		太閤記の世界	たいこうきのせかい
		忠臣蔵の世界	ちゅうしんぐらのせかい
		鏡山の世界	かがみやまのせかい
		お染久松の世界	おそめひさまつのせかい
		清玄桜姫の世界	せいげんさくらひめのせかい
14義経伝説と歌舞伎			よしつねでんせつとかぶき
	判官びいき		ほうがんびいき
		芝居に見る判官びいき	しばいにみるほうがんびいき
	義経伝説・上		よしつねでんせつ・じょう
		牛若丸の命乞い～常盤御前	うしわかまるのいのちごい～ときわごぜん
		兵法を伝授される ～鞍馬天狗と鬼一法眼	ひょうほうをでんじゅされる ～くらまてんぐときいちほうげん
		母のまごころ ～一條大蔵譚	ははのまごころ ～いちじょうおおくらものがたり
		弁慶との出会い～五条橋	べんけいとのであい～ごじょうばし
	義経伝説・下		よしつねでんせつ・げ
		源平合戦～一ノ谷の戦い	げんぺいかっせん ～いちのたにのたたかい
		源平合戦～屋島の戦い	げんぺいかっせん～やしまのたたかい
		義経都落ち～吉野山	よしつねみやこおち～よしのやま
		義経都落ち～安宅の関	よしつねみやこおち～あたかのせき
15作者人名録			さくしゃじんめいろく
	作者とは		さくしゃとは

大項目	中項目	小項目	よみがな
		三升屋兵庫	みますやひょうご
		近松門左衛門	ちかまつもんざえもん
		文耕堂	ぶんこうどう
		初代竹田出雲	しょだいたけだいずも
		並木千柳（並木宗輔）	なみきせんりゅう（なみきそうすけ）
		二代目竹田出雲	にだいめたけだこいずも
		三好松洛	みよししょうらく
		初代並木正三	なみきしょうぞう（しょうざ）
		近松半二	ちかまつはんじ
		金井三笑	かないさんしょう
		初代奈河亀輔	なかわかめすけ
		初代桜田治助	しょだいさくらだじすけ
		初代並木五瓶	しょだいなみきごへい
		初代奈河七五三助	なかわしめすけ
		初代福森久助	ふくもりきゅうすけ
		四代目鶴屋南北	よだいめつるやなんぼく
		二代目松井幸三	まついこうぞう
		三代目桜田治助	さんだいめさくらだじすけ
		三代目瀬川如皐	さんだいめせがわじょこう
		河竹黙阿弥	かわたけもくあみ
		三代目河竹新七	さんだいめかわたけしんしち
		福地桜痴	ふくちおうち
		竹柴其水	たけしばきすい
		岡村柿紅	おかむらしこう
		小山内薫	おさないかおる
		松居松葉（松翁）	まついしょうよう（しょうおう）
		坪内逍遙	つぼうちしょうよう
		大森痴雪	おおもりちせつ
		岡本綺堂	おかもときどう
		山崎紫紅	やまざきしこう
		池田大伍	いけだだいご
		岡鬼太郎	おかおにたろう
		高安月郊	たかやすげっこう
		菊池寛	きくちかん
		真山青果	まやませいか
		額田六福	ぬかだむつとみ（ろっぶく）
		食満南北	けまなんぼく
		長谷川伸	はせがわしん
		三島由紀夫	みしまゆきお
		山本有三	やまもとゆうぞう
		宇野信夫	うののぶお
		北條秀司	ほうじょうひでじ
		狂言作者のしごと	きょうげんさくしゃのしごと